

Negative Pressure Wound Therapy と固定観念

田ノ上 禎久

九州大学病院ハートセンター心臓血管外科

Negative Pressure Wound Therapy and Preconceived Notion

Yoshihisa Tanoue

Cardiovascular Surgery, Kyushu University Hospital Heart Center, Kyusyu, Japan

陰圧閉鎖療法(negative pressure wound therapy: NPWT)の小児開心術後の縦隔洞炎にする有効性と安全性を示した片柳らの報告は、多くの小児心臓外科医にとって有用な情報である¹⁾。それ以上に、治療にかかわったスタッフの多大な努力に敬意を表したい。NPWTは、創傷治癒を促進する手段として、1990年代に既に提唱されていたが、一般的に広まったのは最近である。NPWTは、整形外科領域での難治性創傷、褥瘡の治療として認知され、その後、開心術後の縦隔洞炎に対する治療として応用された²⁾。NPWTは、平成22年度診療報酬改訂にて「局所陰圧閉鎖処置」の名称で保険収載され、ケーシーアイ(KCI)株式会社のV.A.C. ATS[®]治療システム(Vacuum Assisted Closure Therapy System)が薬事承認を受け、特殊な治療ではなく、身近な治療になった。

NPWTの縦隔洞炎に対する治療の有効性の症例報告や研究は散見されるものの、そのほとんどが成人症例に関するものであり³⁻⁵⁾、小児症例に関しては、まだまだ経験数が少ない⁶⁾。NPWTの強い陰圧の呼吸循環動態に与える影響や、組織、吻合部を破壊する可能性等の安全性に関する検討も、成人症例では問題ないとされているが、小児症例に関しては今後の課題である。片柳らの経験は6カ月と5カ月の乳児症例であるが¹⁾、今後、低出生体重児や新生児症例の報告など、小児開心術後縦隔洞炎のNPWTに関する報告例が増え、適応や治療時期のガイドラインが確立されてくると予想される。

私にとって開心術後縦隔洞炎の治療は、開放して洗浄し続けるという方法が長い間の常識であった。1日に2ないし3回、多量の温生食で洗浄するため、患者さんだけでなく、治療にかかわる医療従事者も疲弊していた。小児症例の場合は、鎮静の問題もあり、大変な治療であった。1年前、冠動脈バイパス術後にMRSA縦隔洞炎を併発し、両側開胸のために呼吸器から離脱することができず、加療に苦慮していた症例に対し、本院のWound Ostomy Continence(WOC)のスタッフとNPWTを導入した。本施設で初めての試みであり、創部を密閉することが、感染を増悪させるのではないかと根拠のない不安に駆られたが、すぐに杞憂であることがわかった。患者は呼吸器から離脱し、持続吸引器を引きながら歩行することができるようになった。動けるようになったことで、全身状態が劇的に改善した。数度のデブリドメントを要したが、最終的にNPWTだけで治癒した。その後、NPWTはさまざまな難治性の創傷の治療に多用されるようになった。私自身、先入観からくる固定観念のために、劇的な治療効果を目の当たりにするまでNPWTを信じるができなかったことを反省している。術後の創部感染は、その治療法以上に、その予防法が大切であることはいままでもない。清潔操作を心がけている一外科医として、現在、正しいと信じて行っていること、たとえば、手洗い時のブラッシングや創部消毒の是非を、固定観念を排除して問うているところである。

【参考文献】

- 1) 片柳智之, 小澤 司, 佐々木雄毅, ほか: 小児開心術後縦隔洞炎に対して持続陰圧閉鎖療法が奏効した2例の経験. 日小循誌 2011; **27**: 233-237
- 2) 齋木佳克, 田林暁一: 感染性心臓・大動脈疾患の治療. 6. 心・大動脈術後縦隔炎に対する持続陰圧吸引療法. 日外会誌 2009; **110**: 21-26
- 3) 湯田淳, 野地 智, 館林孝幸: 冠動脈バイパス術後メチシリン耐性ブドウ球菌(MRSA)縦隔洞炎に対し持続陰圧吸引vacuum assisted wound closure (VAC)療法が有効であった1例. 日心外会誌 2009; **38**: 248-251
- 4) 西村謙吾, 中村嘉伸, 原田真吾, ほか: 術前・術後管理 開心術後正中創感染に対する持続陰圧吸引療法. 胸部外科 2009; **62**: 1053-1055
- 5) Saiki Y, Kawamoto S, Sai S, et al: An effective vacuum-assisted closure treatment for mediastinitis with aortic arch replacement. Interact Cardiovasc Thorac Surg 2008; **7**: 712-714
- 6) Hiramatsu T, Okamura Y, Komori S, et al: Vacuum-assisted closure for mediastinitis after pediatric cardiac surgery. Asian Cardiovasc Thorac Ann 2008; **16**: 45-46